

平成24年6月6日
観光庁国際交流推進課

中華人民共和国訪日観光客受入
旅行会社連絡協議会加盟旅行会社 様

訪日団体観光の適正な取扱いについて

平素より中国からの観光客誘致について、大変お世話になっております。

今年は日中国交正常化40周年の佳節を刻む年であり、両国の一層の観光交流の促進のために、中国人観光客の受け入れ拡大にご尽力いただきますよう改めてお願い申し上げます。

さて、中国からの訪日団体観光の適正な取扱いに関しては、日本国内発行の中国語新聞「東方時報」の記事を用い、中国人旅行者が「日本でだまされる」といった事態の根絶を、文書（平成21年8月21日付事務連絡）で「中華人民共和国訪日観光客受入旅行会社連絡協議会」事務局に要請し、加盟旅行会社に周知徹底するとともに、平成22年5月には、観光庁内に「訪日ツアー改善提案窓口」を設けたところですが、未だに飲食・宿泊施設の質の低下や、ツアー中に半ば強制的にショッピングに連れて行かれるといった苦情が多く寄せられています。また、観光庁に報道機関からいわゆる「ぼったくりツアー」に関して取材があり、報道機関に大きな問題として認識されています。

このような悪質なツアーが催行されることは、訪日旅行の信頼性、ブランドイメージを著しく損ない、中国からの観光客の拡大に水を差すものであるとともに、結果として旅行会社の信頼性を失い、訪日旅行事業の将来性を困難にするものです。実態として、このようなツアーが催行されているのであれば、日本側旅行会社の旅行手配にも問題があると指摘せざるを得ません。

つきましては、中国人観光客の満足度向上を通じて訪日旅行の拡大が図られるよう、中連協会員旅行会社におかれては、訪日団体観光の適正な取扱いと、悪質なツアー根絶への取り組みを徹底していただくようお願いいたします。